

令和6年10月1日

健康福祉総務課 健康づくり・糖尿病対策グループ

担当者：遠山、南部（3364、3365）

電話：087-832-3273

令和5年度

小児生活習慣病予防健診の結果(概要)がまとまりました。

1 健診の目的

小児生活習慣病のハイリスクの子どもの早期発見と児童・生徒及び保護者に対して効果的な健康教育を実施し、将来の生活習慣病の発症を予防する。また、小児生活習慣病予防健診結果をもとに、子どもの生活習慣病の実態を把握し、今後の改善策や予防策を検討するための基礎資料とする。

2 健診の概要

対象	小学校4年生	中学校1年生
参加事業者	17市町、香川大学教育学部	14市町、香川大学教育学部
参加人数	6,989人	2,933人
調査項目	身長、体重	
	血液検査（糖代謝、脂質、肝機能に関する8項目） HbA1c、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、AST、ALT、 γ -GTP	
	生活習慣調査（食事、運動、睡眠、家族歴等に関する17項目）	

3 主な結果

◆ 小学校4年生

○ 検査結果について

- ・ 肥満傾向（男子15.8%、女子11.6%）、痩身傾向（男子2.4%、女子2.1%）
- ・ 脂質異常（男子10.3%、女子11.7%）
- ・ 脂肪肝リスク（男子4.4%、女子2.3%）

○ 増加傾向にある生活習慣

食事（夕食後の間食を毎日食べる、食事で気をつけている項目が少ない、孤食の機会がある、いつもおなかいっぱい食べる）
運動（情報メディア等の利用時間が2時間以上、徒歩による通学時間が20分以下）

○ 男女共に肥満傾向（肥満度20%以上）と関連がみられた生活習慣

食事（はやく食べる、野菜摂取が少ない、朝食を食べない日が多い、おなかいっぱい食べる、果物を食べない）
運動（情報メディア等の利用時間が長い）

◆ 中学校1年生

○ 検査結果について

- ・ 肥満傾向（男子12.7%、女子9.3%）、痩身傾向（男子3.0%、女子4.4%）
- ・ 脂質異常（男子9.4%、女子9.9%）
- ・ 脂肪肝リスク（男子6.5%、女子1.9%）

○ 増加傾向にある生活習慣

食事（お腹いっぱい食べる、孤食の機会がある、朝食を食べない日が多い）
運動（情報メディア等の利用時間が2時間以上）

○ 男女共に肥満傾向（肥満度20%以上）と関連がみられた生活習慣

食事（「適正体重になるように食べる」の該当が少ない）
運動（有酸素運動及び筋力トレーニングの回数が少ない、情報メディア等の利用時間が長い）

※中学校1年生の健診は受診生徒が県全体生徒数の約4割であったため、健診結果は県全体を示すものではありません。

また、令和3年度から新たに1実施主体が対象に加わり令和元年度及び2年度とは対象が異なります。

※血液検査に異常値がみられたものであっても、ただちに治療が必要であることを意味するものではありません。

将来、生活習慣病にならないために、健診をきっかけに生活習慣の見直しを呼びかけます。